

新しいベランダ園芸（プランター等を使用した植物栽培と利用）

園芸デザイン部 福井こころ 橋本瑞希

コロナの影響で、新しい生活様式という言葉をよく聞くようになった。巣ごもり生活の中で、にわかに注目を浴びるようになったのが園芸である。自宅での小さなスペースを利用したインテリアとしての園芸植物を利用する人が増えている。私たちのクラブでは、3年前より自宅での小さなスペースで、園芸植物を楽しむ方法を提案してきた。家庭のベランダを利用して、プランター等で園芸植物を楽しむ方法を提案することを目的に、研究を開始した。

【 園芸には興味がある。でも場所がない 】 ⇨ 【 自宅の小さなスペースを利用するしかない 】



クラスの生徒を対象に、家庭での園芸（ガーデニング）に興味があるかどうか聞いた。結果、34名中21名が興味を示した。しかし、場所がない（庭のある一軒家に住んでいる人は4人）という理由で、積極的にかかわっている人は2名しかいなかった。



ベランダや玄関先の小さなスペースを利用したガーデニングを考えた。
プランターや鉢を利用して、巣ごもり園芸に取り組むためには、目新しさが必要と考えた。

【 プランターを利用したベランダ農園は 】 ⇨ 【 イチゴ や ハーブ の栽培 】



ベランダでのプランター栽培は、花や、野菜がよく栽培されている。狭いベランダの場合は、プランターは多く置けない。何を栽培するか？



数少ないプランターで栽培する場合、興味を引く植物が面白いのではないかと考えた。四季成りで栽培が簡単な、ワイルdstロベリーや、バジルを選んだ。

【 まとめ 】

- ① ベランダ等の小さなスペースで、プランター等を利用して園芸を行う場合は、育てやすい品目で、特色ある利用ができるものを推奨する。例) ワイルdstロベリー → ジェム加工。バジル → スパゲティやサラダ。
- ② 玄関先の小さなスペースで管理できる小果樹の鉢（コンテナ）栽培が面白い。例) マイヤーレモン → マーレードへの加工。

【 今後の課題 】



ワイルdstロベリー



ホーリーバジル・シモンバジル



マイヤーレモン

今年度の研究は、各自の自宅での実践的研究を行うつもりであったが、コロナ等の関係で思うように進めることができなかった。普及させたい植物は増殖している。継続してこの研究を行いたい。